

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4493
24年10月29日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

長中局でもゆうパックの配達証への署名押印省略の開始

おはようございます。早いもので今週は11月に入り、年賀はがき発売も始まります。しかし郵便料金改定で年賀はがきも値上げされ「年賀じまい」のお客様も増えそうです。販売低迷での締め付けなど行わないよう求めます。

10月17日、日本郵便より郵政ユニオン本部に対し情報提供がありました。

ゆうパック配達証への署名押印省略

2024年7月から全国15局で試行開始しており試行結果を踏まえ、10月1日以降全国拡大を進めています。以下、情報提供の試行結果を抜粋して掲載します。

○試行局15局の好意的な意見

※受取時の手間が省けた、楽になってよかった。

※高齢者や乳幼児を抱えた方、身体に不自由のある方から感謝の言葉をいただいた。

※大口事業所で複数枚の配達証に押印をいたしていた手間が解消され好評だった。

○否定的な意見

※書留やレターパックに署名押印が必要な理由が分からない。

※署名押印が必要な場合（書留等）と不要な場合（ゆうパック）があるため、お客様さまが困惑された。

※ゆうパックは署名押印が必要なものと準備されており、若干の不安を感じるお客様がいた。



○お渡し時の工夫

※お客様が印鑑等を探しに行く手間がないよう、呼称確認後、すぐに署名押印不要を伝える。

※呼称確認だけでなく、目視確認を依頼したり、差出人様も呼称するなど、

今まで以上に確認作業を徹底した。

○配達証紛失対策

※車外持ち出し専用の配達証フォルダを作成※配達時に配達証をはがし、即時ケースに納入する。

○試行期間中のイレギュラー事象

※署名押印の確認依頼が1件発生
※未受領申告は、家族の行き違い受領済のもの1件発生



長中局でも10月28日(月)より試行が開始しました。混乱を避けるためにも、長中局でも配達時の署名押印省略が基本となります。

しかし未受領申告が不安になる社員もいると思えます。上記のお渡し時の工夫を参考にしたり、配達状況をメモするなどの工夫も必要かもしれません。尚、2025年度以降は配達証の様式が廃止予定となっております。

ヤマト協業の取組状況 (STEP4)

○STEP4開始に向けた検討状況

ネコポスからの顧客移行遅れの原因となっていたリードタイムを短縮するため、ヤマト社引受けの当日にJP地域区分局に引き渡し、翌日以降の配達を実施。

STEP5開始予定の東京エリア及びサイト連携顧客(コンビニ、フリマサイト)についてSTEP4への前倒しを検討(10月時点では見合わせ11月以降で時期等別途調整)

○STEP4における引受想定数量

10月当初は、全体で350万〜400万個(月程度の引受け(ネコポス全量の約12%、ゆうパケット移行を含め約30%)を想定。今後、ヤマト社との間で、東京エリア及びサイト連携顧客の引受開始に向けた調整を実施。

○取扱いの変更点

STEP4開始以降のクロネコゆうパケットの業務量増加を見据え、サイズ一律運賃(現状は1.

2. 3cmの3サイズ制運賃)を導入するとともに引受検査の簡素化(通数検査を省略)や配達局において到着時の到着入力を廃止し、フロントラインの業務負担を軽減。

当初の移行想定では、STEP3(2024年8月)時点で54.6%を想定していましたが、ゆうパケット移行分含め約25%となっていて移行が遅れている状態です。STEP4(2024年10月)時点での移行想定は70.3%でしたが、推定で約30%ととなっております。



2025年2月のネコポスの完全移行に向けて今後はゆうパケット(クロネコゆうパケット含む)の引受個数の増加が予想されます。

既に土曜、日曜のゆうパケット配達には大きな支障が出ています。業務量に応じた適正な要員配置を求めます。



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員の正社員化を。

ゆげが、均等待遇、なげんご差別ー。

ユニオンは労基法裁判に勝利したぞー!